



第58期 中間事業報告書

# GLORY REPORT

平成15年4月1日～平成15年9月30日

**GLORY**®

グローリー工業株式会社



# 株主のみなさまへ

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当社第58期上半期（平成15年4月1日から平成15年9月30日まで）の営業の概況等につきましてご報告申し上げます。

## 営業の概況

### 全般的概況

当上半期のわが国の経済は、厳しい雇用環境と個人消費の低迷などで、景気は依然として厳しい状況で推移いたしました。株価の上昇基調の中で民間の設備投資に回復の兆しがあるなど、一部に明るさが見られました。

このような一般景況のなかで、当社の関連市場である金融市場につきましては、合理化投資に対する需要に加えて平成16年7月に発行が予定されている新紙幣に対応した機器の先行需要などにより、需要は前年同期に比べて増加いたしました。流通市場につきましては、個人消費の低迷と季節的要因などで百貨店などの企業収益は伸び悩みましたが、省人化に効果のある機器の需要やフロント（お客様窓口）

機器の需要につきましては順調に推移いたしました。また、省人化投資に積極的な警備保障会社向けの機器の需要も順調でありました。自動販売機市場につきましては、レジャー施設や食堂向けの各種券売機に堅調な需要がありましたが、市場が飽和状態であるたばこ販売機の需要減により全体的には低調な推移となりました。遊技市場につきましては、パチンコホールのカウンター回り機器の需要は順調でありましたが、パチンコカード会社の競争激化によりカードシステムの販売は低調でありました。

このような環境下において当社は、各市場におけるきめ細かなニーズに迅速に対応するために新技術の研究と新製品の開発を推進するとともに、来年度に発行が予定されている新紙幣に対応した機器の開発業務や製造に取り組むなど、売上高の拡大に努めました。この結果、当上半期の売上高は381億6千6百万円（前年同期比14.9%増）となりました。このうち、国内の売上高は351億7百万円（前年同期比19.6%増）、輸出の売上高は30億5千8百万円（前年同期比21.0%減）となりました。利益につきましては、生産高の増加により売上原価率が改善された結果、経常利益は50億4千万円（前年同期比76.4%増）、

中間純利益は37億 5 百万円（前年同期比85.4%増）と大きく改善いたしました。

なお、中間配当金につきましては、1株につき8円とさせていただきます。

### 会社が対処すべき課題

当社は貨幣処理における世界のトップブランドを目指し、当社のコア技術であります認識・識別技術、メカトロ技術に一層の磨きをかけることによって市場ニーズに対応した製品の開発を強力に推し進めてまいり所存であります。さらに、当社コア技術に裏打ちされた各種機器を情報技術と融合させることによって、お客様にとって付加価値の高い、より広範囲なソリューションの提供に努めてまいりたいと考えております。

なお、当面の課題といたしましては、平成16年の7月に予定されております新紙幣の発行に対応して、識別技術の確立とそれに伴う生産力の強化を図るなど万全の対策を実施し、お客様にご不便をお掛けすることがないように最大限の努力をしてまいりたいと考えております。

このように環境変化への迅速且つ的確な対応に努

め、グローリーグループの総力を結集し、業績の継続的な向上を図り、株主のみなさまのご期待に応えてまいり所存であります。

株主のみなさまには、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成15年12月

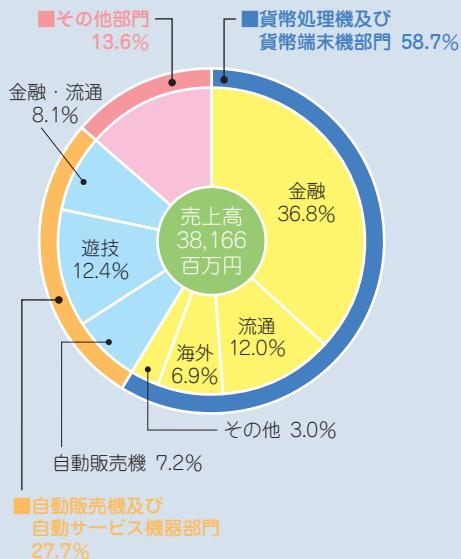


取締役社長 **西野秀人**

# 部門別概況

## 貨幣処理機及び貨幣端末機部門

主要な市場は、金融市場、流通市場、海外市場であり、部門全体の売上高は、その他の市場の売上高も含めて223億7千9百万円（前年同期比20.9%増）と大幅に増加いたしました。



### 金融市場

金融機関の設備投資が、来年度に発行される新紙幣に対応可能な機器の先行需要中心となっているため、硬貨包装機の販売は減少いたしました。新紙幣対応の機器であるオープン出納システムの販売は大幅に増加いたしました。さらに、OEM商品でATM搭載用の硬貨入出金機の販売も大きく増加いたしました。

この結果、当市場の売上高は140億2千9百万円（前年同期比35.7%増）となりました。

### 流通市場

正確性や利便性の高い機器として好評を得ているスーパー・小売店向けのレジ釣銭機の販売は大幅に増加いた

しました。さらに、集配金サービスを拡大展開している警備保障会社向けの売上入金機やスーパー・量販店の出納の省人化機器である小型入金機の販売も順調に増加いたしました。

この結果、当市場の売上高は45億6千8百万円（前年同期比21.4%増）となりました。

### 海外市場

米国向けの入金機の販売は増加いたしました。また、紙幣放出装置は減少いたしました。また、欧州向けの紙幣計算機やアジア向けの紙幣整理機の販売も減少いたしました。

この結果、当市場の売上高は26億4千6百万円（前年同期比25.2%減）となりました。



**プランチステーションシステム (WAVE-100FNS)**  
金融機関の入出金・分類整理・帯封など、現金出納処理を完全自動化。新紙幣にも対応し、販売が大きく増加しています。



**量販店向け小型入金機 (DS-500)**  
スーパー・量販店などの小型店舗で、売上金の入金処理に利用。レジ担当者による売上金のダイレクト入金も可能で、日々の精算業務の合理化に貢献します。

## 自動販売機及び自動サービス機器部門

主要な市場は、自動販売機市場、遊技市場であり、一部、金融市場、流通市場の製品も含まれております。部門全体の売上高は、その他の市場の売上高も含めて105億8千3百万円（前年同期比2.2%増）となりました。

### 自動販売機市場

たばこ販売機は市場が飽和状態であり、また、たばこメーカーの設備投資の見直しによる販売機の需要減も影響し、販売は減少いたしました。

この結果、当市場の売上高は27億7千万円（前年同期比2.1%減）となりました。

### 遊技市場

パチンコホールのカウンター回りの機器である景品自動払出機は、景品交換業務の合理化機器として好評で販売は大幅に増加いたしました。パチンコカード会社向けのプリペイドカードシステムの関連機器であるカード販売機やカード処理機の販売

は、競争激化により減少いたしました。

この結果、当市場の売上高は47億1千7百万円（前年同期比20.0%減）となりました。

### 金融・流通市場

紙幣両替機につきましては、金融機関における両替業務の有料化の動きに加え、新紙幣対応の先行需要もあり、売上高が22億8千3百万円（前年同期比131.6%増）と大幅に増加いたしました。



設置例

#### 景品自動払出機 (JK-110)

パチンコホールのカウンター周りで、景品交換業務を効率化。カウンタと一体型のデザインと見やすいカラー液晶が、ホールのイメージアップを実現します。



#### 紙幣両替機 (EN-100N/P)

効率的な両替サービスを実現する紙幣両替機。両替機手数料徴収化の動きに加え、新紙幣対応の先行需要もあり、売上げが増加しました。

## その他部門

主にサービス・修理用部品であり、新紙幣対応の改造需要が始まったため販売が増加しました。部門の売上高は、52億2百万円（前年同期比19.4%増）となりました。



Edyは、非接触ICカードの技術を利用したかんたんで便利なプリペイド型の電子マネーです。カードにチャージ(入金)すれば、読取部にカードをタッチするだけで決済できます。

※ Edyはビットワレット株式会社の提供する電子マネーサービスです。



本体

カード読取部

Edy対応

#### POS連動店舗端末 (SIP-61)

本体POSレジなどと連動し、スピーディに決済。レジ横などのわずかなスペースでも設置でき、汎用性のあるEdy決済ができます。

# 中間決算報告（単体）

中間貸借対照表（平成15年9月30日現在）

（単位：百万円）

資産の部		負債の部	
<b>流動資産</b> .....	<b>76,449</b>	<b>流動負債</b> .....	<b>24,145</b>
現金及び預金	25,787	支払手形	6,894
受取手形	54	買掛金	8,254
売掛金	25,443	短期借入金	3,910
有価証券	879	未払法人税等	289
たな卸資産	21,555	賞与引当金	1,810
短期貸付金	560	その他	2,986
繰延税金資産	905	<b>固定負債</b> .....	<b>4,091</b>
その他	1,266	退職給付引当金	3,617
貸倒引当金	△ 5	役員退職引当金	474
<b>固定資産</b> .....	<b>41,230</b>	<b>負債合計</b> .....	<b>28,236</b>
<b>有形固定資産</b> .....	<b>22,291</b>	<b>資本の部</b>	
建物	8,915	<b>資本金</b> .....	<b>12,892</b>
土地	8,177	<b>資本剰余金</b> .....	<b>20,629</b>
建設仮勘定	149	資本準備金	20,629
その他	5,049	<b>利益剰余金</b> .....	<b>55,599</b>
<b>無形固定資産</b> .....	<b>1,421</b>	利益準備金	3,223
<b>投資その他の資産</b> .....	<b>17,517</b>	任意積立金	46,641
投資有価証券	13,665	中間未処分利益	5,734
長期貸付金	188	<b>その他有価証券評価差額金</b> .....	<b>423</b>
繰延税金資産	2,078	<b>自己株式</b> .....	<b>△ 103</b>
その他	1,584		
貸倒引当金	△ 0		
<b>資産合計</b> .....	<b>117,679</b>	<b>資本合計</b> .....	<b>89,442</b>
		<b>負債及び資本合計</b> .....	<b>117,679</b>

(注) 1. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。  
2. 有形固定資産の減価償却累計額 33,635百万円

## 中間損益計算書 (平成15年4月1日~平成15年9月30日) (単位: 百万円)

売上高	38,166
売上原価	30,710
売上総利益	7,455
販売費及び一般管理費	3,814
営業利益	3,641
営業外収益	1,793
受取利息	9
受取配当金	1,572
賃貸収入	170
その他	40
営業外費用	393
支払利息	17
賃貸原価	104
部品廃却損	188
その他	83
経常利益	5,040
特別利益	259
特別損失	87
税引前中間純利益	5,212
法人税、住民税及び事業税	580
法人税等調整額	927
中間純利益	3,705
前期繰越利益	2,029

---

中間未処分利益 ..... 5,734

- (注) 1. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。  
 2. 1株当たり中間純利益 99円94銭

# 中間決算報告（連結）

## 中間連結貸借対照表（平成15年9月30日現在）

（単位：百万円）

資産の部		負債の部	
<b>流動資産</b> .....	<b>120,050</b>	<b>流動負債</b> .....	<b>51,991</b>
現金及び預金	52,905	支払手形及び買掛金	19,293
受取手形及び売掛金	31,961	短期借入金	18,637
有価証券	879	未払法人税等	1,546
たな卸資産	29,335	賞与引当金	3,928
繰延税金資産	2,922	その他	8,586
その他	2,213	<b>固定負債</b> .....	<b>7,447</b>
貸倒引当金	△ 168	退職給付引当金	6,200
		役員退職引当金	1,139
		その他	107
<b>固定資産</b> .....	<b>53,463</b>	<b>負債合計</b> .....	<b>59,438</b>
<b>有形固定資産</b> .....	<b>34,503</b>		
建物及び構築物	13,737	<b>資本の部</b>	
土地	12,658	<b>資本金</b> .....	<b>12,892</b>
その他	8,107	<b>資本剰余金</b> .....	<b>20,629</b>
<b>無形固定資産</b> .....	<b>3,254</b>	<b>利益剰余金</b> .....	<b>80,230</b>
<b>投資その他の資産</b> .....	<b>15,705</b>	<b>その他有価証券評価差額金</b> .....	<b>590</b>
投資有価証券	7,123	<b>為替換算調整勘定</b> .....	<b>△ 165</b>
繰延税金資産	3,739	<b>自己株式</b> .....	<b>△ 103</b>
その他	4,854		
貸倒引当金	△ 11	<b>資本合計</b> .....	<b>114,074</b>
<b>資産合計</b> .....	<b>173,513</b>	<b>負債及び資本合計</b> .....	<b>173,513</b>

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 中間連結損益計算書 (平成15年4月1日~平成15年9月30日) (単位: 百万円)

売上高	63,526
売上原価	41,171
売上総利益	22,355
販売費及び一般管理費	16,773
営業利益	5,581
営業外収益	305
受取利息	27
受取配当金	59
持分法による投資利益	42
賃貸収入	32
連結調整固定償却額	37
その他の営業外収益	106
営業外費用	456
支払利息	125
たな卸資産廃却損	247
為替差損	67
その他の営業外費用	16
経常利益	5,430
特別利益	248
固定資産売却益	4
投資有価証券売却益	243
特別損失	174
固定資産売却損	1
固定資産除却損	119
投資有価証券評価損	36
その他の特別損失	16
税金等調整前中間純利益	5,504
法人税、住民税及び事業税	1,876
法人税等調整額	407
少数株主利益(減算)	19

中間純利益 3,200

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 中間連結キャッシュ・フロー計算書 (平成15年4月1日~平成15年9月30日) (単位: 百万円)

<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前中間純利益	5,504
減価償却費	2,307
持分法による投資利益	△ 42
退職給付引当金の増加額	597
賞与引当金の増加額	686
投資有価証券売却益	△ 243
投資有価証券評価損	36
受取利息及び受取配当金	△ 87
支払利息	125
固定資産除却損	119
売上債権の増加額	△ 3,850
たな卸資産の増加額	△ 7,700
仕入債務の増加額	6,077
その他	663
小計	4,195
利息及び配当金の受取額	87
利息の支払額	△ 126
法人税等の支払額	△ 3,244
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>912</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金等の預入による支出	△ 230
定期預金等の払戻による収入	148
有形固定資産の取得による支出	△ 1,681
有形固定資産の売却による収入	33
無形固定資産の取得による支出	△ 439
投資有価証券の取得による支出	△ 40
投資有価証券の売却による収入	665
連結子会社の株式取得に伴う支出	△ 229
その他	27
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 1,746</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純減少額	△ 302
配当金の支払額	△ 296
その他	△ 24
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 624</b>
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	<b>△ 29</b>
現金及び現金同等物の減少額	△ 1,487
現金及び現金同等物の期首残高	54,924
<b>現金及び現金同等物の中間期末残高</b>	<b>53,436</b>

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 貨幣処理技術から、「顔」照合技術へー

### バイオメトリクス認証技術とは？

近年、急速な情報化社会の進展に伴い、さまざまな分野において、個人認証のセキュリティの重要性が求められています。これまで、本人確認にはIDカードやパスワードなどが用いられてきましたが、これらは盗難の危険性があります。

そこで、近年注目されているのが、バイオメトリクス認証（生体認証）技術です。顔・指紋・虹彩・声紋・静脈など、本人しか持ち得ない身体的な特徴を読み取ることにより確実に本人を識別するため、安全性が極めて高く、個人認証の究極の方法として最近急激に注目が集まっています。

### グローリーのバイオメトリクス認証技術

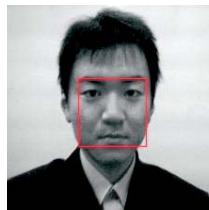
このたび当社が開発した顔認証技術は、長年培ってきた通貨処理技術のノウハウを活かして開発した、当社独自の照合方式によるものです。当社は、バイオメトリクス認証技術分野では、平成12年に指紋照合技術を開発し住宅の玄関錠に実用化しており、この顔照合技術は第二段となります。

当社は今後、顔認証技術の当社製品への応用はもちろん、次代が求める各種セキュリティ装置の開発にも、積極的に取り組んでまいります。

さらに、他社とお互いの強みを活かし協業することにより新しい市場展開を図るなど、よりいっそうの事業拡大を図ってまいります。

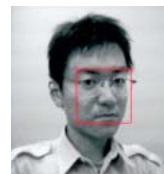
### 顔照合システム

顔の表情や向き、照明度合い、加齢による顔の変化などにも柔軟に対応できる、高い識別能力を実現しました。

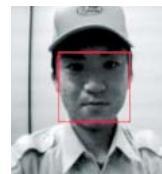


登録画像

照合



判定  
めがね姿  
少し横向き



判定  
帽子姿  
顔が陰に  
なっている

## 病院窓口の混雑を緩和。だれでも、かんたん。医療費支払。

病院等の医療機関において、現金授受などの会計業務の煩雑さや会計窓口の混雑などは、大きな問題のひとつとなっています。患者さんは長時間待つ診察を受け、診察料を支払うために再び待たなくてはなりません。

そんな患者さんの不満を解消し、医療機関のサービス向上や会計処理の省力化に貢献する当社製品が、市場で活躍する様子をご紹介します。

### 診察料の支払いをATM感覚で。

例えば、病院向け精算システム〈FKシリーズ〉を導入した病院では、ほんの20～30秒で診察料の支払いを終えて帰っていく患者さんの姿が見られます。導入当初は、窓口支払いが圧倒的に多かったのですが、利用者は徐々に増え、今ではその比率が逆転しています。

精算機の設置コーナー。まるで金融機関のように精算機が並びます。



操作もかんたん。これまでのように窓口で順番を待つのではなく、自分で精算機に診察カードを通し



て診察料を支払います。

診察カードを入れると音声案内とともに支払金額が表示され、指定金額を投入します。

### 高額な入院費などは、カードで支払い。

現金の代わりにクレジットカードや銀行のキャッシュカード（デビットカード）で支払うことができる診療費カード支払機〈PHD-10〉も好評です。

高額な入院費や人間ドック受診料などを支払う際、現金準備の手間や紛失・盗難などの不安が伴いますが、この支払機があれば、クレジットカードやデビットカードで決済をすることができます。操作もかんたんで、このような手軽さから、利用者が増えています。



音声ガイダンスに従ってカードを入れ、暗証番号を入力すると、決済が完了します。

当社は、今後、医療機関市場はもちろん、あらゆる市場における業務の省力化・合理化に役立つ製品を生み出してまいりたいと考えています。

## GCANセンターの業務拡大！だいこう証券ビジネスと提携。

### 株主総会議決権行使システムを共同開発

当社は、株式名義書換代理人である株式会社だいこう証券ビジネス（以下、「だいこう」と）と共同で、株主総会における議決権行使の集計を効率化できるシステムを開発いたしました。

これは、当社のイメージ処理技術や情報処理センター（以下、「GCANセンター」）を利用した情報処理と、だいこうの株式事務ノウハウを一体化したもので、「株主総会ITシステム」として総合的な機能を提供するサービスです。

### システムの特徴

#### ●招集通知の発送や議決権の行使をIT化

平成14年の商法改正で認められた“株主総会のIT化”に対応しています。発行会社が採用すれば、株主の方は電子メールで招集通知を受取ったり、インターネットを利用して議決権を行使したりすることが可能になります。

#### ●賛否を自動的に判別！

当社が独自開発したイメージ処理技術を搭載した専用スキャナは、議案の行使内容を自動的に判別します。確認作業もかんたんなので、これまでの目視による確認に比べ、かなりの効率アップを図ることができます。

議決権行使書  
グローリー工業株式会社 御中

私は平成15年6月27日開催のグローリー工業株式会社第57回定時株主総会及び権威委員会に提出される各議案につき、右記(賛否を○印で表示)のとおり議決権を行使いたします。

議案番号	議案内容	賛	否
第1号	原案に対する賛	○	
第2号	原案に対する賛	○	
第3号	原案に対する賛	○	
第4号	原案に対する賛	○	
第5号	原案に対する賛	○	

各議案について賛否の表示がない場合は、賛成の表示があったものとしてお取り扱いはさせていただきます。

賛否を自動判別します。

#### ●インターネットで行使内容を閲覧

従来の議決権行使書（書面）による行使と、インターネットによる行使が自動集計され、発行会社はインターネットで随時集計結果を閲覧することができます。

#### ●株主総会当日の集計もおまかせ

株主総会当日、出席株主の方が提出された議決権行使書の二次元バーコード部分を受付担当者が専用スキャナで読み取ると、議決権の集計を自動的に行ないます。総会当日の煩雑な集計作業を大きくサポートします。

### ディア・ネットサービスのシステム運営管理を担当

だいこうが本年8月から開始した“IR情報メール配信代行サービス”（以下、「ディア・ネットサービス」）のシステム運営管理を担当しているのは、当社のGCANセンターです。

投資家が電子メールアドレスを登録すれば、希望する参加企業のタイムリーなIR情報が電子メールで配信されます。上場企業がIR情報を投資家に提供するツールとして、大きな役割を果たすものと期待されています。

また、投資家の方の個人情報などは、デビットカードによる決済代行業務やクレジットカードの通信代行業務などを実施しているGCANセンターが、万全のセキュリティ体制のもと管理運営しておりますので、安心して利用していただくことができます。

**D-ir** ディア・ネットサービス  
net service

当社メール配信サービスのご登録は  
<https://www.dirnet.jp/6457>

# 株式の状況

平成15年 9月30日現在

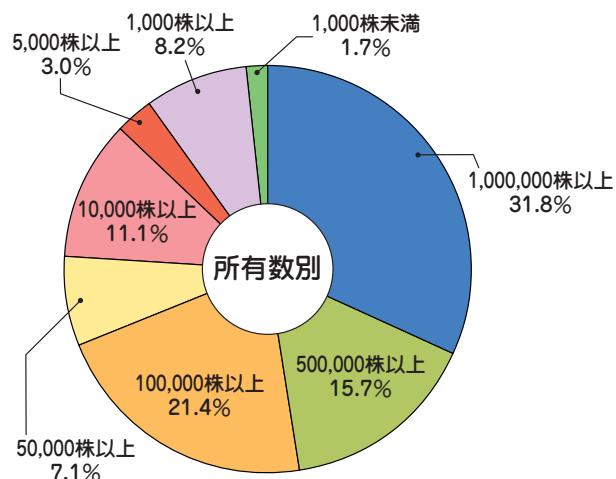
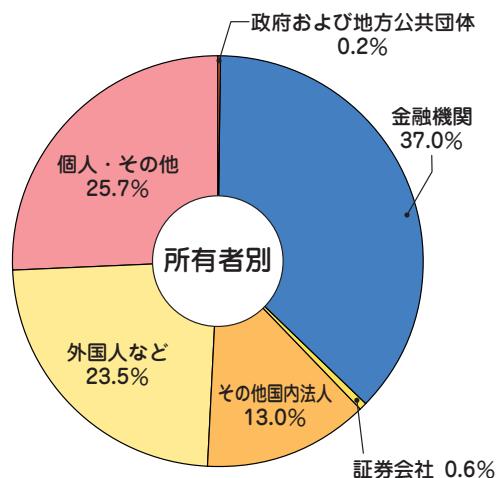
## 株式の状況

- 会社が発行する株式の総数 128,664,000株
- 発行済株式の総数 37,118,105株
- 株主数 5,631名  
(前期末比 253名増)

## 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	2,243	6.0
日本生命保険相互会社	2,051	5.5
龍田紡績株式会社	1,469	4.0
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン	1,353	3.6
日本マスタートラスト信託 銀行株式会社(信託口)	1,284	3.5
株式会社三井住友銀行	1,276	3.4
メロン バンク トリーテー クライアント オムニバス	1,116	3.0
有限会社オノエインター ナショナル	1,009	2.7
有限会社ウイニング	909	2.5
第一生命保険相互会社	857	2.3

## 株式分布状況



# 会社の概要

平成15年9月30日現在

## 会社の概要

商号 グローリー工業株式会社  
GLORY LTD.  
設立 昭和19年11月27日  
資本金 12,892,947,600円  
ホームページ <http://www.glory.co.jp>

## 事業所

- 本社・姫路工場  
〒670-8567  
兵庫県姫路市下手野一丁目3番1号  
TEL (0792)97-3131 (代表)  
FAX (0792)94-6233
- 東京本部  
〒141-8581  
東京都品川区大崎五丁目4番6号  
TEL (03)3495-6301 (代表)
- 埼玉工場  
〒347-0004  
埼玉県加須市古川二丁目4番地1  
TEL (0480)68-4661 (代表)

## 従業員の状況

従業員数	男性	女性	合計
	1,477名	315名	1,792名

## 連結子会社

グローリー商事株式会社  
グローリー機器株式会社  
北海道グローリー株式会社  
Glory (U.S.A.) Inc.  
グローリーサービス株式会社  
Glory GmbH  
グローリー・リンクス株式会社

グローリーアイ・エス・ティ株式会社  
株式会社グローリーテクノ24  
GLORY MONEY HANDLING MACHINES PTE LTD  
加西グローリー株式会社  
佐用グローリー株式会社  
グローリーテック株式会社

## 役員

*取締役会長	尾上壽男
*取締役社長	西野秀人
専務取締役	尾上勝彦
専務取締役	村上雅俊
常務取締役	大上邦弘
常務取締役	牛尾允俊
常務取締役	松岡則重
常務取締役	船引祐一
取締役	松下秀明
取締役	尾上広和
取締役	橋本浩一
取締役	尾上佳雄
取締役	龍田信也
常勤監査役	有吉透
常勤監査役	浦川輝三
監査役	上羽昭夫
監査役	安平和彦

\*印は、代表取締役であります。

## ●株主メモ

■決算日	3月31日
■定時株主総会	6月中
■1単元の株式の数	100株
■公告掲載新聞	日本経済新聞
■名義書換代理人	株式会社だいこう証券ビジネス
■同事務取扱場所	〒541-8583 大阪市中央区北浜二丁目4番6号 株式会社だいこう証券ビジネス 本社証券代行部
(各種お問合せ)	TEL ☎ 0120-255-100(無料) ※株式関係のお手続用紙のご請求は、 次の電話番号およびインターネット で24時間承っております。 ●手続用紙請求TEL: ☎ 0120-351-465(無料) ●ホームページ: <a href="http://www.daiko-sb.co.jp">http://www.daiko-sb.co.jp</a>
■同取次所	株式会社だいこう証券ビジネス 全国各支社
■単元未満株式の 買取請求	単元未満株式(100株未満の株式)の 買取請求は、名義書換代理人にてお取 り扱いしております。株券の保管振替 制度を利用して預託された単元未満株 式の買取請求は、預託窓口の証券会社 を通じてお申し出ください。



**GLORY®**

<http://www.glory.co.jp>

